

第13期 (2026年度)

ジャーナリズム公開講座(全9回)

第5回 8月27日(木) 18:30~20:30

情報公開制度を駆使した 調査報道の成果と課題

調査報道の中でも情報公開制度により公文書入手して行われたものは、同じ情報に誰もがアクセスできる検証性・再現性のあるものだ。しかし、その端緒は日ごろの取材による地道な情報収集によるところが大きい。これまでどのような成果があり、課題があるのかを概観する。

専修大学教授、情報公開クリアリングハウス理事長
三木由希子



【講師略歴】1972年生まれ。横浜市立大学文理学部国際関係課程卒業。在学中より情報公開法を求める市民活動に従事する。1999年NPO法人情報公開クリアリングハウスの設立に参画、室長に就任。2007年同理事、11年同理事長。千葉県八千代市情報公開審査会委員、東京都町田市行政不服審査会委員を歴任。2025年、専修大学文学部ジャーナリズム学科教授に就任。共著に『自治から考える「自治体DX」』、『公文書管理：民主主義の確立に向けて』など。

申込方法(要事前申込/先着)

オンライン配信

定員 200名 Zoom ウェビナー

右の二次元コードまたは下記のホームページからウェビナー登録をしてください。登録完了後に接続方法をご案内します。



●申込期限

8月26日(水)17:00

ご登録いただきました個人情報は、本講座の運営及び当センターが開催する講演会等の案内のみに使用します。

静岡県立大学グローバル地域センター <https://www.global-center.jp/>

電話: 054-245-5600 E-mail: nishi@u-shizuoka-ken.ac.jp (担当:西)